

2 沖縄県における地震の概要(主なもの)

	西暦年月日 (和 暦) (王 代)	震源		規模 M m	地 震 の 概 要
		震央地名	深さ(km)		
1	1664 (寛文 4) (尚質 17)	沖縄島鳥付近	—	— m=1	死者1名、海底から噴火、津波
2	1667 (寛文 7) (尚質 20)	宮古島近海	—	— m=1	洲鎌村で早田が3尺沈下
3	1696. 6. 1 (元禄 9. 5.2) (尚貞 28)	(宮古島)	—	—	拝殿、寺院、仮屋などの石垣が崩壊
4	1760. 5.15 (宝暦 10. 4. 1) (尚穆 9)	沖縄本島近海	—	—	石垣57カ所崩れる。余震あり
5	1768. 7.22 (明和 5. 6. 9) (尚穆 17)	沖縄本島近海	—	— m=1	王城の石垣崩れる。津波により慶良間で田園と民家9戸損じる。
6	1771. 4.24 (明和 8. 3.10) (尚穆 20)	石垣島近海	—	7.4 m=4	地震被害なし。八重山における溺死者9, 209人、流失家屋2, 177戸。宮古各地で死者2, 548人、流失家屋1, 052戸 明和の大津波
7	1842. 4.17 (天保 13. 3. 7) (尚育 8)	(宮古島)	—	—	石垣の崩壊、数十回の余震
8	1882. 7.25 (明治 15)	(沖縄南部)		< 6	那覇、首里で約500箇所の石垣倒壊。首里城でも石垣が90m崩壊。負傷者の記録なし
9	1898. 9. 1 (明治 31)	石垣島近海	—	7.0	石垣・宮古島で家屋半壊2戸、石垣の崩壊1, 124箇所 山崩れ7カ所
10	1901. 6.24 (明治 34)	奄美大島近海	—	7.5 m=0	名瀬市で石垣の崩壊、瓦の墜落
11	1909. 8.29 (明治 42)	沖縄本島近海	—	6.2	被害は、死者2名、負傷者13, 石垣の倒壊1, 021箇所、 家屋全壊7, 半壊9
12	1911. 6.15 (明治 44)	奄美大島近海	100	8.0 m=1	奄美大島、喜界島、徳之島、沖縄島などで被害。地震の総被害は、 死者12, 家屋全壊422, 半壊561
13	1938. 6.10 (昭和 13)	宮古島近海	40	6.7 m=1	宮古島で中震(震度4)、石垣島で軽震(震度2)、沖縄本島一部で 有感。津波により栈橋が流出
14	1947. 9.27 (昭和 22)	与那国島近海	95	7.4	石垣島で死者1名、石垣の崩壊、山崩れ 西表島で死者4名、河原の落下、地割れ、落石
15	1958. 3.11 (昭和 33)	石垣島近海	80	7.2	死者2(宮古1, 八重山1)、負傷者(宮古3, 八重山1)、家屋の破損 石垣・ブロック塀の崩壊。 石垣島、宮古島、西表島で震度5
16	1966. 3.13 (昭和 41)	与那国島近海	42	7.8	与那国島で死者2、家屋全壊1、半壊3、石垣崩壊23 最大震度V: 与那国島
17	1970. 1. 1 (昭和 45)	奄美大島近海	50	6.1	奄美大島で負傷者5, 崖崩れ4, 徳之島で崖崩れ。全体で住家一部 破損1, 462戸
18	1992. 9.17 ~1993. 1.20 (平成 4)	西表島近海	50	5.2	9月17日から味まった西表島北部沿岸を震源とする群発地震活動 12月末までに西表島で震度V6回をはじめ、総計1, 336回の有感 地震を観測。ブロック塀の亀裂
19	1995.10.18 10.19 (平成 7)	奄美大島近海	39 21	6.6 6.5	喜界島で震度V。軽傷1名、崖崩れ7箇所、石垣の崩れ91箇所

※ 規模 M:地震の規模 m:津波の規模
【出典:「沖縄県における地震・津波・火山噴火資料(沖縄気象台)」を参考に作成】